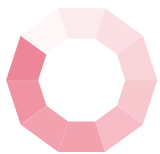


V. 自己改革実践の仕組み

- JAグループさいたまは、自己改革を着実に実践するにあたって、「重点実施分野」の設定と「最重点分野」の具体策を設定します。
また、取組施策の策定にあたって具体的に取組む事項を中期計画に可能な限り数値化・見える化した目標数値を設定し、その実践進捗管理を行っていきます。

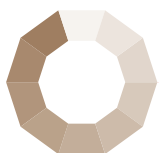
1. 「重点実施分野」の設定
2. 組合員ニーズをふまえた自己改革の取組施策の策定・実践
3. 自己改革の着実な実践と進捗管理



VI. 連合会・中央会によるJAの支援・補完機能の強化

- 連合会・中央会は、「県域担い手サポートセンター」をはじめ、県・全国の各段階において連携した支援体制を構築し、JA・連合会・中央会それぞれの役割分担を明確化した上で、自己改革の着実な実践に取組むJAを事業横断的に支援します。

1. 連合会・中央会による担い手サポートセンターの設置
2. 全国連による「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」の活用
3. 信用・共済事業の事務合理化・効率化
4. JAの事業伸長を支える各事業の取組み



VII. JAグループの結集軸としての「新たな中央会」の構築

- 新たな中央会は、農協法の改正により組織形態が変更され、JAグループの自主的な意思に基づく自律的な組織となることとなりました。
それを踏まえ、地域・事業の枠を超えて連帯する農業協同組合運動の結集軸としての中央会を、JAグループさいたまの総意をもって構築します。
新たな中央会は、今般の農協改革の経過をふまえ、JAが「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として実践する自己改革を、徹底して支援します。

